

## 第4回地球温暖化対策プラン検討会議／開催結果報告

1 日 時 : 平成24年11月13日(火) 午後13時~15時

2 場 所 : 京都府庁1号館第1会議室

### 3 内 容

(主な委員発言)

#### <パブコメ等の意見について>

- ・パブコメに「府施設への屋根貸し等の推進のほか、並行して民間への支援も必要」との意見があるが、府が民間への波及効果も含めて先導的に取り組むことが支援に繋がる。
- ・照明器具の高効率化について去年は、LED照明なら1日10時間程度の点灯で8年以内に投資回収可能であったが、今年になってさらにLEDの価格が下がり、7年程度に短縮されている。今後も価格下落は進むと思うので、どこで決断してLEDに切り替えるかはあるが、すでにESCO事業で手の届く価格となっている。

#### <プランの目標について>

- ・プランの目標の考え方の中で、当面の目標としている「今後3年間で平成23年度比7%以上削減」の考え方がわかりにくい。また、「平成2年度比」と「平成23年度比」という2つの基準が現れるので、それぞれ何年度比の要削減量をわかりやすく記載すべき。
- ・本プランは平成32年度の25%削減目標を見据えた内容となっているが、その先に平成62年度80%削減の目標がある。今回のプランがその目標に向かっての短期目標であることがわかるようにすべき。

#### <具体的な取組内容について>

- ・施策の基本方向に「LEDやHf管などへの更新」とあるが、単なるHf管ではあまり効果がなく、「反射型Hf管」と記載した方が正確。
- ・各フロアや部屋ごとのデマンド削減量等の目標設定ができれば実効性が上がると考える。  
→節電の取組や京都府環境マネジメントシステムの中で、建物単位での目標設定は可能と思われる。(事務局)
- ・BEMSは金がかかりすぎる。デマンド計でいいのではないか。  
→BEMSについて、最近簡易なものが市場に安く出ており、そのようなものを想定している。記載をわかりやすく修正する。(事務局)
- ・3カ年間の取組によってどれだけの電力ピークカットを見込んでいるかも、数値として出せるようであれば出してはどうか。  
→省エネ法が今後改正され、ピークカットを評価する仕組が盛り込まれる予定と聞いており、府としてもピークの低減は考えている。今夏府庁の全施設にデマンド計を導入しピークの把握が可能になったが、これまでの基礎データが少なく、厳密に数値として出すのは難しい。ある程度定性的な要素を入れた評価であれば可能と思う。(事務局)
- ・「災害時の活動拠点となる施設へのガスコジェネレーションの導入」とあるが、インフラが全て遮断されるような災害を想定すると、都市ガスのコジェネレーションも使えなくなる。「備蓄燃料を使った発電機」というような記載の方が適切ではないか。  
→ガスコジェネレーションについては、プロパンガスを使うものも含め考えている。(事務局)

- 東日本大震災の際、中圧の都市ガスはほとんど被害なく供給を継続でき、病院等のガスコージェネレーションにおいても発電を続けることができた。低圧と違い中圧はある程度災害に強い。
- 災害時の活動拠点施設への太陽光発電設備等の導入については、採算性度外視で考えているのか。
  - 採算性を度外視することはできないが、活動拠点施設においては、停電時にも電力が供給できるように売電せず自家消費することを考えている。
- 設備改修のタイミング等の判断はどういう体制で検討するのか。
  - 本プランを着実に推進するため、改修の要・不要を判断する基準を今後検討していきたい。(事務局)
- KESを導入している北陵高校の生徒からの感想文を見て、環境マネジメントシステムが生徒の環境意識向上に非常に効果的であることを改めて感じた。是非府立学校への環境マネジメントシステムの導入を積極的にお願いしたい。
- 当面3カ年間の主な取組の中に「生徒が主体的に担う府立学校環境マネジメントの推進」とあるが、「人材の育成」や「民間への波及」などを意識しての項目であり、そのことがわかるような記載にしてはどうか。

#### <その他>

- エコオフィス推進員等による推進体制は以前からあったものか。
  - 主に環境マネジメントシステムの推進体制として従来からあったものであるが、今後はエコオフィスだけでなく設備改修等ハード面での考え方も取り入れた体制を作っていく必要があり、必要に応じ見直しも含めて検討する。
- 省エネ等に関する新技術がどんどん出てきているが、府の機関で効果の程度を検証できるようなところはないか。
  - 府庁にモデル的に導入してくれないかという売り込みはよくあるが、どれだけ効果があるかこちらもわからず悩んでいるところである。(事務局)